

標準アタッチメント（シャフトチェッカー）

シャフトチェッカーゲージの標準アタッチメントは下記の通りです。

H-10	タイミングベルトドライブシステム、アームヨークアセンブリー、トップローラー①、メインローラー②、サポートローラーアセンブリー③、バーチカルダイヤルゲージキャリア④、ロッドサポート
H-20	タイミングベルトドライブシステム、アームヨークアセンブリー、トップローラー①、メインローラー②、サポートローラーアセンブリー③、バーチカルダイヤルゲージキャリア④、ロッドサポート
H-40	タイミングベルトドライブシステム、アームヨークアセンブリー、トップローラー①、メインローラー②、サポートローラーアセンブリー③、バーチカルダイヤルゲージキャリア④、ロッドサポート

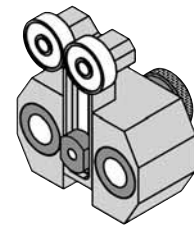
注 ①トップローラー
②メインローラー
③サポートローラーアセンブリー
④バーチカルダイヤルゲージキャリア

P18トップローラーをご参照下さい。
P16.17メインローラーをご参照下さい。
10型用 #409-10 20型用 #409-20 40型用 #409-40
10型用 #412-10 20型用 #412-20 40型用 #412-40

サポートローラーアセンブリー

#409-10 (10型)
#409-20 (20型)
#409-40 (40型)

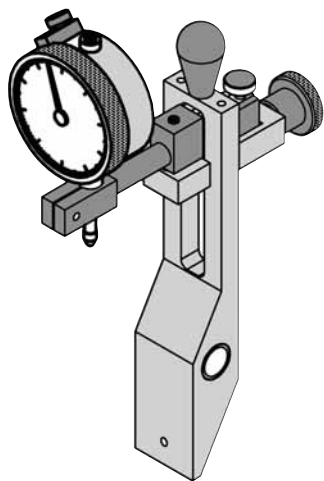
ワーク（シャフト）の左端は3点ローラーで保持し右端は2点サポートローラーで支持します。ワークの径が左端と右端で異なる場合はローラーの高さを調整する事が出来ます。



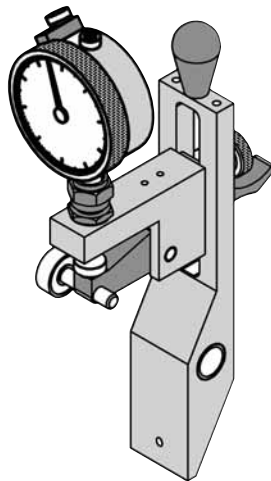
#409 サポートローラーアセンブリー

バーチカルダイヤルゲージキャリア

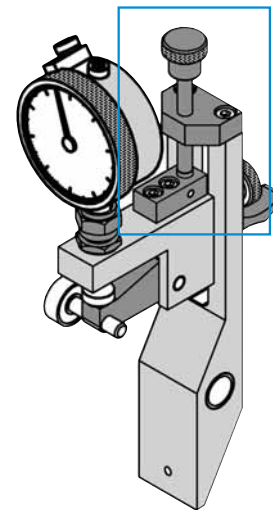
#412-10 (10型)、#412-20 (20型)、#412-40 (40型) バーチカルダイヤルゲージキャリア各1セットが標準アクセサリとしてシャフトチェッカーに装備されておりますが、これらのキャリアはダイヤルゲージのプロブを直接ワークに当てて径の振れ等を測定する様に作られております。ワークの測定面がフラットでなく測定子を直接当てる事が出来ない場合は#414-10 (10型)、#414-20 (20型)、#414-40 (40型) ローラーバーチカルダイヤルゲージキャリア（オプション）を使用します。ダイヤルゲージ位置の微調整が必要な時には#413-10 (10型)、#413-20 (20型)、#413-40 (40型) 微調整ユニット（オプション）が用意されています。HL型ロングシャフトチェッカーの場合はワークの径の振れの測定をバーチカルダイヤルゲージキャリアを増設する事により複数点で行う事が出来ます。



#412
バーチカルダイヤルゲージキャリア



#414
ローラーバーチカルダイヤルゲージキャリア



#413
微調整アタッチメント
（#414に取り付け）